

大阪モノレール(仮称)門真南駅新築工事

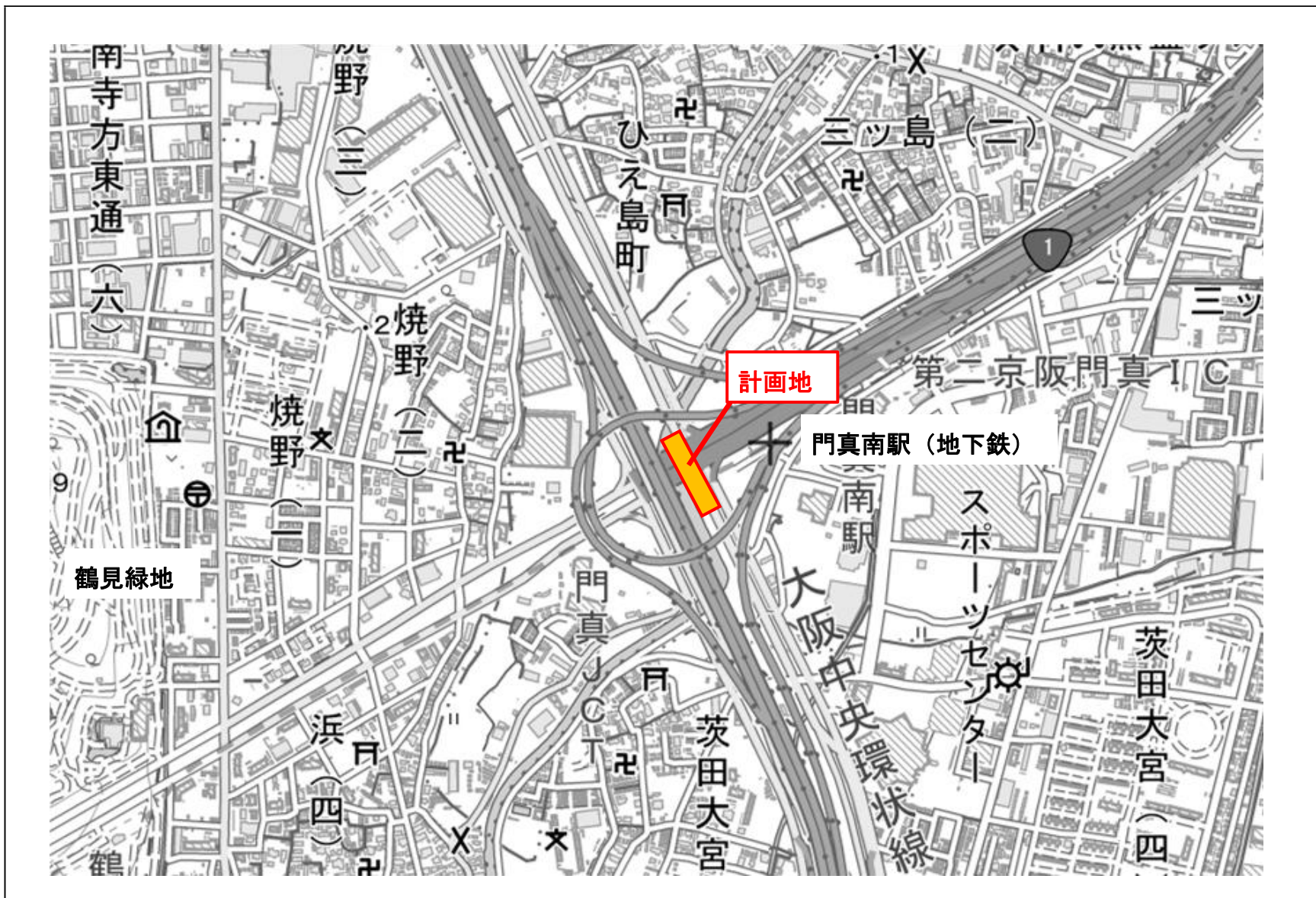
■ 事業目的

大阪モノレール南伸に伴う(仮称)門真南駅の新設

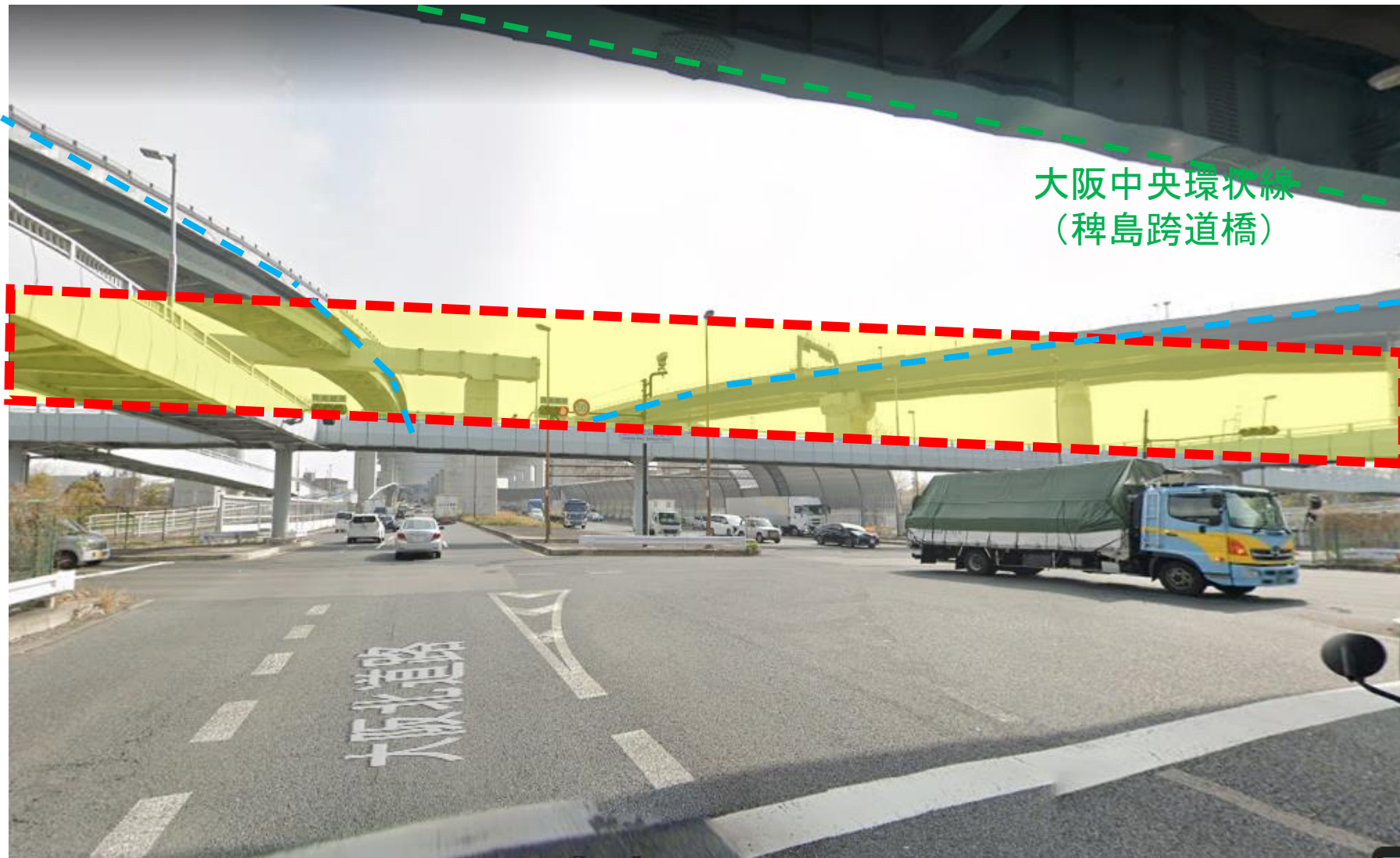
■ 事業概要

建設地	門真市三ツ島二丁目地内 外 (景観行政団体:大阪府/適用される景観計画:大阪府景観計画)		
	従前 (現況)	用途	—
		規模	—
計画施設	用途	駅舎	
	規模 (想定)	鉄骨造(土木建築構造物)、地上2階建て(1階コンコース階、2階ホーム階)、延べ面積約780m ²	

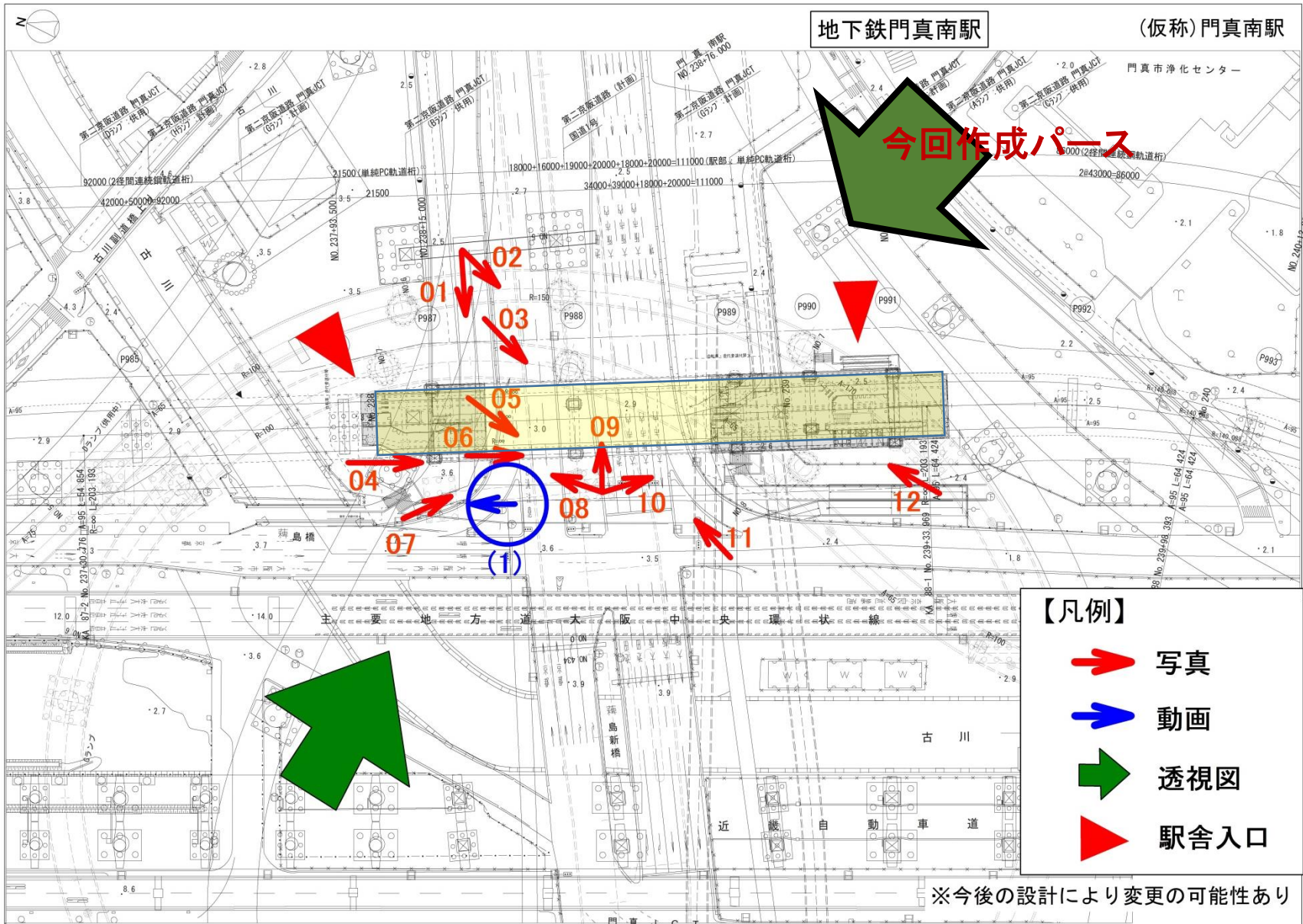
■ 付近見取図



■ 建設地(西側より)



■ 周辺状況



■ 周辺状況



01



02



03



04



05



06



07



08



09



10



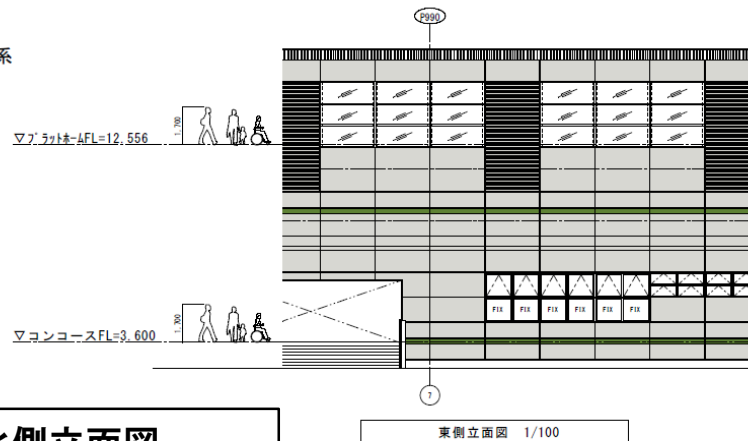
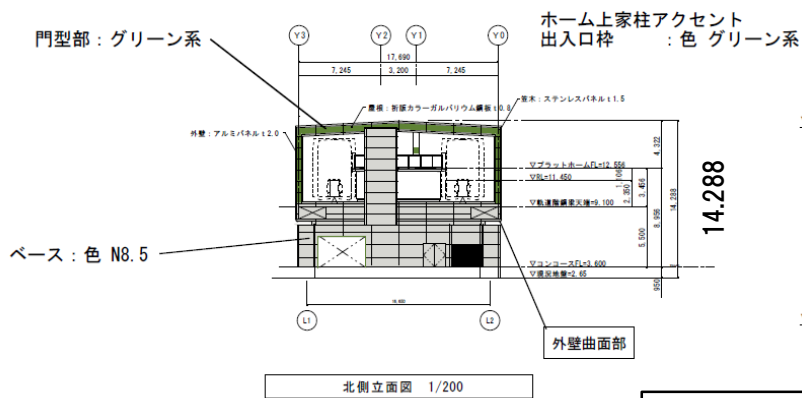
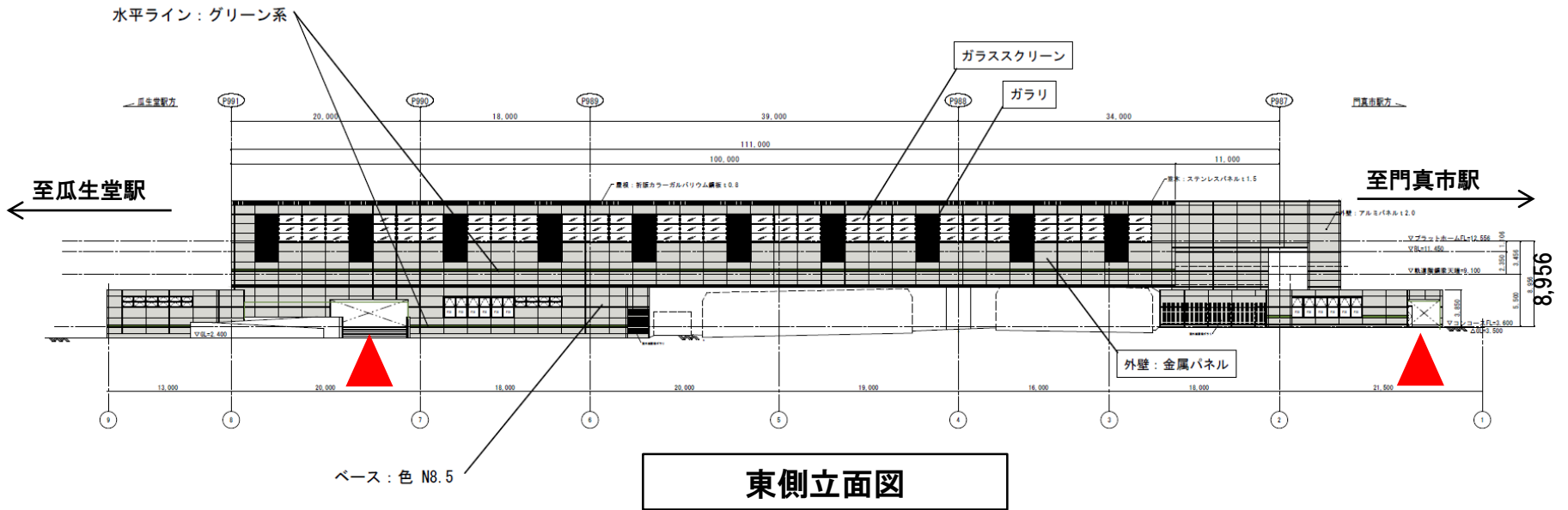
11



12

■立面図

【門真南駅】水平ライン (ベース1色)



※パネル割・コンコース階窓形状・配置・色・素材については
想定のため今後変更となる可能性あり

北側立面図

■ コンセプト: (仮称)門真南駅

『緑あふれる住みたいまち』

- ・計画地周辺には門真スポーツセンター、花博記念公園などの交流施設が立地。
- ・大阪メトロ門真南駅に隣接する門真市浄化センター跡地の土地利用転換など、駅周辺のにぎわいの創出や交流人口の拡大に繋がる公共施設の再編、未利用地・公共用地の有効活用も検討されている。



【三島神社 大クスノキ「薫蓋樟」】

計画地近隣の三島神社境内には「薫蓋樟」と呼ばれる樹齢1000年以上の大クスノキがあり昔からこの地域を見守ってきた。門真市内には多くのクスノキがあり、クスノキは「市の木」にも制定されている。

「癒し・安らぎ」などのイメージを外観デザインに取り込む

●デザイン概要【コンセプトカラー】

- ・植物のイメージとして「緑」「黄緑」などを採用する。



■ パース:(仮称)門真南駅



前回パース

※イメージのため今後設計の進捗により変更する可能性もあります

■ 目標設定シート:(仮称)門真南駅

事業概要						
事業名称	大阪モノレール延伸事業（門真南駅）				工事種別	新築
敷地概要	事業地の位置	門真市三ツ島二丁目地内 外				
	用途地域	準工業地域			防火地域	準防火地域
	敷地面積	未確定	建蔽率	60%	容積率	200%
	その他制限等	なし				

3. 事業地周辺の景観の特徴を確認する

事業地の立地特性や周辺のまちなみ・景観資源等の確認

計画地周辺の地形上の特徴	平坦な市街地
計画地周辺の景観を構成する主な要素	道路構造物（近畿自動車道、第二京阪奈道路、大阪中央環状線、歩道橋）
計画地周辺の景観を構成する特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・門真JCT、近畿自動車道、大阪中央環状線、歩道橋などの道路施設が多い。 ・少し離れたところに大阪府立門真スポーツセンター、三井アウトレットモールなど、個性的な建物があるが統一は図られていない。
道路（沿道）から計画地までの景観上の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・中央環状線沿道には、カラー舗装、インターロッキング舗装の歩道あり。 ・中央環状線沿道の植樹帯には、シャリンバイ（低木）、ケヤキ(中木) があり統一が図られている。
計画地周辺の照明等、夜間景観の特徴	・道路照明により夜間も比較的明るい
その他 ※地域の風土、歴史、文化等、景観形成に影響のある、地域の成り立ちに関する要素を記載	

事業地の周辺からの見え方の確認

計画地を望む主な視点場	遠景	生駒山系
	中景	周辺道路など開けた場所
	近景	周辺道路、建物など
計画地の見え方	遠景	門真JCTの高架構造物に囲まれた中に駅舎が確認できる
	中景	駅舎の壁面、屋根形状が確認できる
	近景	駅舎の壁面仕上げが確認できる

■ 目標設定シート:(仮称)門真南駅

4. 事業地周辺の景観の特徴を確認する		
施設の別	景観形成指針	景観に関する基本的な考え方
公共建築物	景観づくりの手本としての景観形成 周辺景観との調和、道路との一体的な景観形成、地域性を活かしたデザインなど、景観づくりの手本として良好な景観形成を行う。	行う ・大阪中央環状線、近畿自動車道に近接しており、かつ道路の上空を跨り駅舎が配置されるため、交通の安全性に配慮しつつ、外壁色彩は、グレー系の金属パネルをベースに、アクセントカラーにグリーン系を取り入れることで存在感を醸し出しつつ、周辺と調和させる。
	設備関係附帯物の外観配慮 建築物周辺の附帯物（高架水槽、ダクト類、エアコン室外機等）については、建築物との一体化や敷地の外から見えない位置への配置など、外観に配慮する。	配慮する ・南側地上階の道路に面する室外機置場は、外壁仕上げを駅舎壁面と同色とする等、外部から目立ちにくい計画とする。
	駐車場・ごみ置き場等の外観配慮 駐車場、駐輪場及びごみ置き場等を敷地の外から見える場所に設置する場合は、植栽により修景し、又は建築物等と一体化するなど、外観に配慮する。	配慮する ・接道からの安全な動線を確保しつつ、外部から目立ちにくい配置とする。
	適切な維持管理・耐震改修時の外観配慮 適切な維持管理を行い、外観を美しく保つとともに、耐震改修等の際にも、外観に配慮する。	配慮する ・幹線道路直近に位置することから、維持管理の手間を低減を図るため、既設区間同様に金属パネルの外壁とする。
4-2. 共通指針のチェック		
構成要素の別	景観形成指針	景観に関する基本的な考え方
附属物	照明方法、夜間景観への配慮 照明施設は、周辺の状況に応じた照明方法等により、夜間景観が良好となるよう配慮するとともに、光による害が生じないように努める。	該当なし ・夜間の営業時間における駅舎の照明設備は、プラットフォーム及びコンコース内であるため、周辺に対して光による害は生じないと考える。
	標識・サイン等 標識・サイン等は、掲出場所に留意し、分かりやすく、統一性のある質の高いデザインを採用したうえで、数や規模を必要最小限とするよう努める。	努める ・運行主体となる大阪モノレール株式会社の社内基準に基づき、周辺から駅までの動線や駅名が認知できるサイン計画とする。

※該当する構成要素の指針のみ記入してください

■ 目標設定シート:(仮称)門真南駅

5. 計画地の景観上、最も重要なポイントを確認する

※1～3の確認結果を踏まえ、計画地の景観上、重要なポイントを記載してください

- ・計画地は近畿自動車道と第二京阪道路を結ぶ門真JCTの膝元であり、大阪中央環状線の跨道橋や歩道橋の土木構造物群との関係性を考慮する。
- ・自動車、歩行者及び利用者からの視点に留意する

6. 景観形成の目標（景観に関する考え方）を立てる

※1～5の確認結果を踏まえ、本事業における景観に関する考え方について記載してください

No	内容
1	モノレールの既設区間（大阪空港～門真市）との色、デザイン等の連続性を確保することで、利用者の利用促進、利用者の利便性につなげる。
2	周辺の土木構造物との調和を図る。
3	駅舎の存在が埋もれることが無いよう、存在感を示すためのアクセントとして、水平ラインを取り入れる。
4	アクセントカラーの選定については、地域のイメージに配慮する。
5	

■ 対応報告シート:(仮称)門真南駅

項目	アドバイザーからの意見	アドバイスへの対応	
既存駅との違い	<p style="text-align: center;">第1回アドバイザー会議での意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 延伸される駅と既設の駅ではデザインが違う。大阪空港駅から門真市駅だと、プラットホームとコンコースの部分が分離したような形で駅舎がデザインされていた。千里中央駅は、今回の駅よりも格好良い、それは踏襲して欲しい。 ・ 既に営業している区間とのトータルデザインという観点で、屋根や外壁でホームを覆う形というのは踏襲されているが、細部を見ると違う。細かな違いで利用者に与える印象が違ってくる。ホームを覆う形状というのが、利用者が思い描くモノレールの形、そのあたりは外さない方が良い。 	対応状況	対応済み
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 既存駅とデザインを合わせようとしており、また、ホーム階とコンコース階の分離に関しては、ホーム階（軌道階含む）は、コンコース階よりも駅舎としての幅が少し大きくなることも同じであるが、アクセントカラーでのラインを入れることで対応。 ・ 形状については、細部において多少の違いはあるが、屋根や外壁でホームを覆う形は踏襲し、利用者が思い描くモノレールの形から外れないように配慮。 	
周りと関係性	<p>モノレールに乗っていると、どこの駅に着いたのかが分からないことがある。乗客からみて、サインなど周りがどのように見えるかも大事で、乗っていておもしろい、周りとの関係性のなかで表現して頂きたい。</p>	対応状況	対応済み
		<p>サインについては、利用者の利便性や安全面を考慮し、各駅にて統一化しようとしているが、運行主体の大阪モノレール株式会社の社内基準に基づき、周辺から駅までの動線や駅名が認知しやすい計画とする。</p>	

■ 対応報告シート:(仮称)門真南駅

項目	アドバイザーからの意見	アドバイスへの対応	
特徴ある駅舎	モノレール一本で大阪の良さが伝わるように。駅舎というのは、その地域の顔であり、愛されるアイコンである。地域の景観をリードするようなふさわしい風格を備えたデザインになるように目標をたてていただきたい。	対応状況	対応済み
	門真南駅ではジャンクションのダイナミックな景観。目立たないようにではなく、土木景観としていかに良いものをつくるかが重要。格好良さや迫力、雄大さを好意的に評価するものもある。せっかくあのような場所につくるのであれば、おもしろい駅をつくっていただきたい。駅舎内から見たり、あるいは近づいて見たり、車内から見たりできる。	各駅について、建設地域の特性をふまえたコンセプトを作成した。	
景観を構成する道路	・門真南駅は周辺にジャンクションの高架があるということで、この地域の景観を構成する道路構造物として記載されているが、どんなものがその道路構造物として骨格を作っているのかを記載して欲しい。	対応状況	対応済み
	・この地域の骨格をつくっているのが、既存の構造物で、そのようなものが乱立していくと、統一感のない乱れた感じになる。それを整備していくような形で挿入するという視点で目標設定シートに記載してほしい。骨格となっている道路構造物の材質や形状をとらえた上で、今回はこのような構造物を挿入するというような方向性を示して欲しい。	近畿自動車道と第二京阪道路を結ぶ門真JCTの膝元であり、大阪中央環状線の跨道橋や伴っての歩道橋も有る中での駅舎建設となるが、土木構造物については合理性が追及される中で位置や高さ及び線形等が決定され、結果、ダイナミックな景観が形成されているため、それら土木構造物との一体感を有しつつ、駅舎の形態そのものを魅せることで調和を図る。	
見駅舎の方	門真南駅だとメトロからの乗換えで歩道を通ってくる人からどのように見えるのか、見え方として検討したいのが、人の視線になる。その写真やパースが欲しい。	対応状況	対応済み
		大阪メトロから乗換えする人の視線で、パースを作成。	